

# 魚類防疫対策事業

鷲尾 達・水谷 寿

## 【目的】

養殖業における魚病発生は、種苗輸入等に伴う海外からの魚病侵入、国内種苗移動の広域化等により、大規模化、広域化、複雑化する傾向にあり、国内の防疫体制の確立が必要となっている。

また、魚病対策としての医薬品投与が食品の安全性確保の観点から適正に行われることを目的とする。

### 1. 魚類防疫推進事業

#### (1) 疾病検査

##### ①・②疾病検査・巡回指導

定期的な疾病検査による養殖場の防疫監視、魚病被害・水産用医薬品使用状況把握、養殖漁家等への疾病について適切な予防・治療方法等に関する防疫対策指導の一環として特定の病原体をもたない種苗を放流・流通させるための検査・防疫対策を実施する。

#### (2) 水産動物防疫会議

##### ①防疫対策会議

国内防疫体制推進のため中央防疫会議に、近県防疫体制検討のため地域合同検討会に参加し、県内においては県内防疫対策会議を開催する。

##### ②水産動物防疫講習会

県内増養殖業者を対象に魚病関係情報を提供し、魚病被害の軽減を図る。

#### (3) 魚病診断技術対策

##### ①魚病診断技術研修

持続的養殖生産確保法にある特定疾病等の診断技術を研修する。

#### (4) 緊急魚病発生対策

疾病被害が懸念される場合及び他への感染により重大な被害が予想される疾病が懸念される場合、届け出るよう指導し、疾病検査及び診断を行うとともに、必要な防疫対策を講じ、疾病の伝播防止に努める。なお、特定疾病の発生が疑われた場合は、速やかに確定診断を行うとともに、種苗等の移動状況、池毎の放養数、死亡数、管理状況及び発生が疑われた養殖場周辺における養殖の現況等の把握に努め、必要に応じて周辺養殖場を対象とした疾病検査を行う。その概要については水産庁へ通報し、特別対策の実施についてあらかじめ協議する。

### 2. 養殖生産物安全対策

魚病の発生・伝播の防止、魚病被害の軽減を図るため及び養殖物の食品としての安全性を確保するため、

医薬品適正使用指導、医薬品適正使用指導実態調査を実施する。

## 【方法】

本事業は魚類防疫体制推進整備事業（国庫）実施要領に基づいて実施した。

### 1. 魚類防疫推進事業

#### (1) 疾病検査

##### ①・②疾病検査・巡回指導

巡回した養殖場において病魚・種苗を採集し、水冷し活魚輸送した。病死魚は水冷して輸送した。IHN・IPN・ヘルペスウイルス検査は培養細胞を使用し、15℃で培養した。冷水病検査は改変サイトファーガ培地等を使用し、15℃又は18℃で数日間培養し、出現した黄色コロニーを採取し、スライド凝集法又は蛍光抗体法で冷水病菌と同定した。せつそう病の検査はTSA培地により、BKDは蛍光抗体法により行った。

#### (2) 緊急魚病発生対策

養殖者等から連絡があり、被害が懸念される疾病について緊急に検査し、投薬・処置または蔓延防止対策を講じた。

### 2. 養殖生産物安全対策

#### (1) 医薬品適正使用指導

魚病発生時等に魚病検査・薬剤感受性試験を実施し、有効な薬剤の投与指導を行った。

#### (2) 医薬品適正使用指導実態調査

平成13年2月22日に内水面養殖者90経営体にアンケート調査を実施した。

## 【結果及び考察】

### 1. 魚類防疫推進事業

#### (1) 疾病検査

##### ①・②疾病検査・巡回指導

検査時期	対象魚種	対象疾病
H12.4.4～	ワカ(8)稚魚	IHN・IPN・ヘルペス・BKD・冷水病
H12.4.7～	アヒ(60)稚魚	冷水病
H12.4.10～	サクラマス(5)稚魚	冷水病
H12.4.11～	アヒ(60)稚魚	冷水病
H12.4.13～	アヒ(60)稚魚	冷水病、ヒブリア病
H12.4.14～	アヒ(60)稚魚	冷水病
H12.4.18～	アヒ(60)稚魚	冷水病

H12.4.18～	アユ(34)稚魚	冷水病
H12.4.19～	アユ稚魚(60)	冷水病
H12.4.20～	サクラマス 稚魚(10)	冷水病、細菌性鰓病、セッコウ病
H12.4.27～	アユ稚魚(12)	冷水病、細菌性鰓病
H12.5.1～	アユ稚魚(60)+(60)	冷水病、冷水病
H12.5.2～	アユ稚魚(2)	冷水病、ヒヅナ病
H12.5.16～	アユ稚魚(10)	冷水病、ヒヅナ病、細菌性鰓病
H12.5.25～	ニジマス 1+(3)	IHN、冷水病、ヒヅナ病
H12.5.25～	イワナ 1+(4)	IHN,IPN,冷水病
H12.6.20～	ヤマメ稚魚(5)	IHN,IPN、冷水病、セッコウ病
H12.6.26～	アユ稚魚(2)	冷水病、ヒヅナ病
H12.7.4～	河川アユ(4)	冷水病
H12.7.4～	ヒメマス(60)	IHN,IPN,ヘルペス、冷水病、BKD
H12.7.8～	ヤマメ 1+(1)、サクラマス 1+(1)	セッコウ病、冷水病、
H12.7.8～	イワナ親(2)	セッコウ病、冷水病
H12.7.21～	アユ稚魚(2)	ヒヅナ病、冷水病
H12.7.28～	アユ稚魚(3)	冷水病
H12.8.1～	アユ稚魚(2)	ヒヅナ病、冷水病
H12.8.11～	アユ稚魚(2)	ヒヅナ病、冷水病
H12.8.17～	マス 0+1	ダクチロキルス、トリコシナ、シュートモナス病
H12.8.24～	河川アユ(2)	ヒヅナ病、冷水病
H12.9.8～	河川アユ(3)	ヒヅナ病、冷水病
H12.10.2～	イワナ 3+(2)	セッコウ病、冷水病
H12.10.4～	溜池コイ(1)	細菌性鰓病、シュートモナス病
H12.10.25～	ヒメマス親魚(40)	IHN,IPN,ヘルペス、冷水病、BKD
H12.11.7～	マス 1+(3)	シュートモナス病、細菌性鰓病
H12.12.21～	アユ稚魚(60)	冷水病
H12.12.21～	アユ稚魚(60)	冷水病
H12.12.22～	アユ稚魚(60)	冷水病
H12.12.28～	アユ稚魚(60)+(60)	冷水病
H13.1.4～	アユ稚魚(60)	冷水病
H13.1.17～	アユ稚魚(8)	ヒヅナ病、冷水病、細菌性鰓病
H13.2.1～	ヤマメ稚魚(13)+(13)	セッコウ病、冷水病
H13.2.9～	サケ稚魚(4)	冷水病
H13.2.9～	アユ稚魚(2)	冷水病
H13.2.26～	アユ稚魚(60)	冷水病
H13.2.26～	アユ稚魚(1)	冷水病
H13.3.7～	サケ稚(10)	トリコシナ症、細菌性鰓病、冷水病
H13.3.8～	アユ稚魚(60)	冷水病
H13.3.9～	サケ稚魚(10)	細菌性鰓病、冷水病
H13.3.23～	サクラマス 1+(1)	冷水病
H13.3.30～	アユ(12)	冷水病、運動性エロモナス症

下線部は陽性個体が出現したことを示している。検査結果に基づき投薬・処置・防疫対策を伝達した。

今回の調査ではIPN及びIHNウイルスがそれぞれ1経営体で確認された。顕著な症状や激しいへい死は確認できなかったが、今後も注視していく疾病と考えられた。また、本年はアユの冷水病について出荷時から病原菌保有検査を実施しており、30検体中10検体で冷水病原因菌が確認された。発病にいたっていないものもあるが、サケ・マス類の冷水病と併せて発生動向に注目する必要がある。

(2) 水産動物防疫会議

① 防疫対策会議

(a) 中央防疫対策会議

年月日	開催場所	主な構成員	主な議題
12.7.26	東京都	水産庁 水産研究所 魚類防疫センター 各道県魚病担当者	VHS関連事項
12.10.30	東京都	同上	魚病対策センター事業 独立行政法人 ヒラメVHS対策 魚類防疫員任命状況
13.3.6	東京都	同上	魚病被害等調査 魚介類疾病調査 11年度魚類防疫センター事業 地域合同検討会 13年度魚病関係予算要求

(b) 県内防疫対策会議

年月日	開催場所	主な構成員	主な議題
12.3.21	男鹿市	内水面養殖業者 水産漁港課 水産振興センター	冷水病対策 12年度事業経過 13年度事業計画

(c) 地域合同検討会

年月日	開催場所	主な構成員	主な議題
12.10.30 ～31	福島市	北海道・新潟 東北6県	合同検討会の目的方向性 各道県の魚病発生状況 各道県の魚病関連事業の取り組み 各道県の魚病研究の紹介

②水産動物防疫講習会

(a) 魚類防疫講習会

年月日	開催場所	対象者 (人数)	内 容
13.3.21	男鹿市	マス類 養殖者 11名	魚病発生状況 水産用医薬品 内水面試験池の状況

(3) 魚病診断技術対策

(a) 魚病診断技術研修

年月日	開催場所	参加人数	内 容
			該当なし

(4) 緊急魚病発生対策

① 緊急魚病発生対策

(a) 緊急魚病発生対策の内容

養殖者から連絡があり、被害が懸念される疾病について緊急に検討し、投薬等の処置や蔓延防止対策を講じた。

12年度の内水面における診断件数は54件で、魚種別ではアユが最も多く22件、次いでイワナが4件であった。疾病別では、病原体を確認したものが全体で23件で、うち冷水病が14件と最も多く、次いでセツソウ病が3件、また、冷水病と他の疾病を併発したものが3件であった（表1参照）。

② 特別対策

実施しなかった。

表1 魚種別疾病別診断件数（平成12年4月～平成13年3月31日現在）

疾 病 名	内 水 面								計
	ニジマス	イワナ	ヤマメ	サクラマス	ヒメマス	サケ	アユ	ナマズ	
I P N		1							1
IHN・冷水病	1								1
せつそう病			2	1					3
細菌性鰓病・冷水病							1		1
細菌性鰓病				1					1
BKD・冷水病					1				1
冷水病			1	2		2	9		14
ダクチロギルス症・トリコジナ症								1	1
合 計	1	1	3	4	1	2	10	1	23